磐城每日

社長 大和田與兵衞
發行所 福島縣平市15丁目12番地
株式會社 磐城每日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番
定價1ヶ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

投稿歡迎

事前運動 特に覺書該當者注意
表面化した地方選擧の動き

地方選擧立候補者の資格調査表の提出受附も既に開始され選擧の告示も旬日の後に迫つたので自薦他薦の候補の愈々表面化しこれを支持する動きも漸く活發化しつゝあり始んと事前運動と見られる向もあるのでその取締り當局の神經をとがらしているが特に注意を要するのは覺書該當者の選擧運動であつてこれに對しその筋では次の如く注意を促している

昭和二十二年一月四日勅令第一號により覺書該當者（潜在追放者を含む）とされた者については「公選による公職の候補者の推薦、屆出又は選擧運動その他政治上の活動をしてはならない」ものとされ更らに「選擧權の行使に必要な場合を除く外は總ての選擧に關係ある事務所、集會場等に出入してはならない」とされている、又覺書該當者は選擧に關し寄附をしてはならない、且つ覺書該當者に對し第三者との關係について寄附を勸誘し或は要求してもならない

以上の如き行爲のあつた者に對しては重い刑罰を科せられる事になつている

地方選擧の資格調査表
早目に提出方を要望

來る四月行はれる地方選擧の立候補者の平市に於ける資格調査表の受付は去る十七日より開始したが十九日正午後までに市の庶務課に於て受理したのは次の十二氏である

大嶺秀吉、野崎喜八郎、須藤鶴之助、野澤武藏、鈴木寅次郎、小野善秋、山野邊正善、坂本昌藏、小野榮一、阿部長兵衞、永山直猪（縣）中田龜治、

市當局では受理した調査表は第一回を二十一日、第二回を二十四日、第三回を二十六日の三回縣に送付する豫定で最終の二十六日の分は當日午後十二時まで縣に到着するよう送付しなければ縣では受理しない事になつているので資格調査表の提出は早目にされる樣望んでいる

田人村の中學校 二十二日落成式

田人村では二十二日午前十一時より田人中學校の落成式を行ふ、同校舍は收容人員四百八十四名九學級總建評五百十一坪の堂々たるもので計費五百五十一萬九千五百圓で四月入學式前完成した事は教育關係者を喜ばせている

地方事務所で 選擧事務の打合せ

石城地方事務所では來る二十四、二十六日の兩日地方事務所において各町村の關係者を招き地方選擧の打合會を行ふ

石城地方 事務所の管內
增產の要ある產米割當

昭和二十六年度の產米目標數量は去る十六日開かれた石城地方農業調整委員會及石城町村會の合同委員會の席上で審議され決定を見たので二十日石城地方事務所から發表された、管內生產目標數量十九萬三千八百五十四石、作付面積八萬四千五百二十一反步で反當の收入は二石二斗九升四合（約五俵三斗）である、なお昨年度の總生產目標は十九萬五千三百八十一石で千五百二十七石の減收とはなつているが作付面積が千二百九十一反減じている、これは道路改修とか其の他の土木事業關係で耕作地が減じたゝめである事は勿論であるこのため本年は昨年の反當收入二石二斗六升四合に比して三升增加となつたため昨年以上の增產が達成されなければならない譯けで本年もまたより以上の增產の年である

第二回平競輪 後節の第一日
平日としては先づ上々

第二回平競輪後節第一日三日目の二十日は春の訪れを思はせた陽氣も「彼岸」といふ「寒」が來たの例にもれず寒波襲來、爲にファンの足をにぶらせたか或はまた明日の休日に希望をかけたか、觀衆の足はまばらで午前十一時現在入場者數五百四十五名第一レースの賣上六萬五千四百圓であつたが第一日の第一レースの賣上六萬四千八百圓を上まわり除々にではあるが上昇の傾向にあることは何はともあれ事實である、少い觀衆ではあるが興奮は高まり雨もよいの空を見つめつつもファンは增加の傾向を示し平日としては先づ先づの成績を得られるものと豫想されている

縣下青年 學級一年間を反省
明年度の運營方針を審議

二十五年度より始めて實施された青年學級はいよいよ第二年目に入るわけであるがこれが實施方法については種々論議研究されるべき余地があるとして來る二十六、二十七日の兩日福島縣下各地の青年代表が飯坂において來年度の運營方針其の他について協議されるが石城管內からも赤井村鈴木登氏、小名濱町吉田幸氏、高久小學校長國井清久氏が出席して本年度の反省及來年度の運營に關する縣補助金其の他經費面について審議することとなつた

平中小校の修卒業 二十三日一齊擧行

平市內の各小學校中學校の修卒業式は二十三日次の通り一齊に行う

平第一小（午前十時）平第二小（午前九時半）平第三小（午前十時）平第四小（午前十時）平第五小（午前九時）平第六小（午前九時半
各中學校（午前十時）

平稅務署管內
所得稅の滯納二億圓

平稅務署では昭和二十五年度の所得稅の三期分の未納者五千四百名に對し出來る限り早急に納入する樣要望している、三期分の未納額八千萬圓で期限は二月二十八日であつた、なお一期二期の滯納額の總計は二億圓に上つている

平の櫻まつり
接客の講習會

平市のサクラまつりの接客サービス向上のため市役所商工課では來る二十八日午後一時から市公會堂日本間で市內料理組合、旅館組合藝妓組合等の關係者約百名を招きサービス講習會を開催する、講師は國鐵平營業所主任松原氏の豫定である

自轉車の盜難

平市白銀町九番地瓦職工佐藤肇（四二）さんは二十日午前二時三十分頃自宅玄關口にあつた中古自轉車一台時價一萬圓相當を盜まれた

平の列車取締り
十九日白米二俵

平鐵道公安室では十九日午前四時三十六分平着常磐線上り急行二〇二列車の一齊取締りを行い無主物白米二俵[illegible]押收した

チンピラ金ヘン泥
湯本成田山で盜む

湯本町三函四六無職佐藤信夫（一六）假名は十四日から十七日までの間に前後四回にわたつて同町同字の成田山本堂責任者楠本正隆さん方から金屬製佛具五点約一萬圓相當を盜み十九日湯本町署え擧つた、同少年は昨年末東北少年院を出所して來たばかりの不良少年で窃盜の常習犯である

江名町署非常招集
全署員の緊張示す

江名町署では二十日午前一時頃平市に暴動が起つたとの假想の下に非常招集を行つたが約一時間で全署員十一名が參集其の後午前二時から五時まで江名町內を臨檢した、全署員の緊張ぶりが町民よりたのもしがられている

上り列車遲延
レールボンドの盜難で

十七日午後四時頃常磐線湯本泉間でレールボンド二十四本が盜まれているのを磐崎地內信號分區駐在員小管昭（三三）さんが發見磐崎村駐在所に屆出た、このため平發午後三時十分常磐線上り上野行四三六列車及平發午後四時常磐線上り水戶行四三八列車二本とも信號機が赤のため進行出來ず約六分遲れて泉驛を發車した

二十日晩は北よりの風曇りときどき晴

二十一日北のち南よりの風朝の內曇りで日中は晴

二十二日はじめ北の風しぐれ模樣でのち北西の風となり天氣

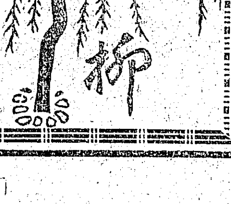
社告

二十一日は春分の日につき休業致します從つて二十二日附本紙は休刊致します

磐城每日新聞社

大衆食堂
あつい鍋燒うどん
特製支那そば
さかえ
出前迅速
平驛前東角
電話九八八番

飲食とお酒の店
（十八才より廿四、五才迄給料は面談の上）女給さん急募!!
平市本局前 電五二八



祝御入學
寿のランドセル
◈丈夫で安いと定評のある◈
寿
百貨店

本縣最初の封切二本立
20日～25日迄
西部の嵐
主演 ウイリアム・ボイド イヴリン・ブレント
硝煙の匂い漂ふ鑛野に命を賭けた冒險と戀の巨篇!! 仁俠の名拳銃士が無法者の巣食う鑛山町に敢然肅正の挑戰状をたたきつけた
第二部 えり子と共に 藤本プロダクション
父の再婚と姉夫婦の不和にえり子は悩み何を求めたでしょう
主演 角梨枝子 宇佐見淳 山村聰 大日方傳
同時上映 双葉山物語
平文化

平市の名士を訪ねて

茫洋大人の風格

山崎賢耕氏

山崎賢耕氏の名を知らぬ人でも舊飯野谷川瀬の紺屋を知らぬ人はない筈だらう谷川瀬の紺屋と言えば誰でも「はゝあ、あの家だ」と思い出す程谷川瀬の紺屋は凡ての人に親しまれている堂々とした長屋門、廣い家敷ドッシリと落着いた家屋、三百年の歴史を持つこの舊家は舊飯野村有數の素封家として連綿として續いて來た蓋し素封家の名稱がこれ程ピッタリ當てはまるのは先づ少い主人賢耕氏の三代前まで染物業を受けついで來た屋號が現在なお紺屋といわれるわけだとは古事を知る人の話である、何處かの外出から戻つた主人を黒門の傍で摑え矢繼早に發する記者の質問に唯大樣に笑つているだけであつた、滿五十五才元農地委員、現民生委員飯野農業協同組合理事として現在は專心農業に從事しているがその半生をサラリーマンとして送つた閲歴は面白い、前の石城無盡、元の飯野村信用組合などに二十年余を勤めるなどこの素封家の主人としては余り例を見ない事であらうデップリと肥つた体軀を國民服につゝみ無造作に羽織つたグレーのオーバー、大きな赤ら顔に黑縁の眼鏡、焦せらず急がず、ゆつたりと落つついた貫錄、茫洋とした大人の風格をそなえた人と稱すべきかにこ〳〵と頰笑む應待には誰にでも親しめる美點を備えている、勿論氏の半生の人生航路から推して純農といふにはふさわしからず、またさりとてサラリーマンと稱するも當らない、春風駘蕩悠然として闊歩する村夫子として筆をおく

町議選擧の前奏曲

…（小名濱支局）…

（第二區の卷）2

小名濱町第三區は町制實施以來町全体から見て代表的人物を出して居る、二代町長には小野定太郎翁を出して居る、今の磐崎屋の先先代である、三代町長の比佐余平翁を出して居る、宮津醫院の大家樣比佐好雄氏の先代が其人である、更に大山與惣兵衛翁がある、實施當時の助役として町條例制定に力を致した創設者である、最近では小野定太郎翁の孫で小野四郎君が助役として町政に携はり現職でたをれて居るなど有爲人物が輩出して居るが何れも故人となつて居る、其後今に現存されて居る、小濱長太郎翁の如きは最元老の重みを示し在職實に三十年の永きに亘り町議として存在は大きい、亦更に昨年物故した鈴木正君の如き意氣天を衝くの氣慨を有し、其行動又奇想天外の不可思議ともさるゝものが少くないと云ふ人物揃へであるが現に活躍して居る議員としては小野直千賀、佐藤政治、山野通茂、小野作太郎、草野增太郎、小野武雄の六氏であるが、何れも一騎當千の猛者であると云ふのが正當でなからうか、小野(直)君の如きは、磐城山鐵次郎翁の遺業磐城座の經營に當り、從來の經營に一策を講じ遂に今日の隆昌を策した才識に富んだ手腕を有し他の追隨を免さぬ、それが爲め初回の出馬に對しては其選擧ぶりが豪華を極め他の候補者を眩惑せしめた程で其結果は最高率で五百票を獲得したと云ふ歷史を二回持つて居る、今回の出馬は明瞭して居るが、相變らず豪華版を思はせて居るので有名であり、在職中町の文化事業の進展に勉めて手腕を見せて居る、佐藤君たが君の狙いは町議を以て滿足して居ない、町の實力を誇る爲めには商業會議所の設立、觀光事業の振興等に對して又一隻眼を供へ、町の歩みを一歩〳〵前進を期して居る即ち町當局を鞭撻して何時市制を實施するの成案があるかなどと、其見る處は絕大である、これが爲め或は町議には一寸出馬を斷念して他の方向で活躍せんかとも考へられる、山野邊君は本町唯一の書籍文房の具店舖であつて其人物も亦文化人としての歩みを見せて居る、其抱負もシッカリして居る、此君も町議をそれ程戀しくはない或は後進に讓ると云ふ氣構いをほのめかして居ると傳へられて居る、小野作太郎君に至つては厚生委員長として各種委員長が一年交替で方つけて居るが、君バカリは萬年委員長で通つて居る、其事業と職務に熱心なる事は他の企及し難い處で君が搖がさる地盤の上に出馬の意を強ふする所以である、草野增太郎君は漁業家としての存在は大きい、近年の不漁續きでは漁業を放任して置けぬと云ふ意向では町議を他に讓つて出馬をせないと云ふ意志が動いて居ると傳へられて居る、小野武雄君は一期中病魔の爲めに最初二三回出席の儘、一期を病中で暮したと云ふ珍らしき人物であるが、人物はシッカリして居るので、將來を期待されたが遂に顏を出さないで暮して仕舞つたが今回は出馬はせないと見られて居る

小名濱の現舊町議員

第三回懇談會を開く

小名濱町第三回現舊議員懇談會は第一小學校視覺室に於て十七日午後二時開催した會長菅原町議會議長開會を宣し會長は暫定的に私が就任したのであるが種々の觀点から舊議員各位の內から擧げた方がよろしいと考へるから御承認の上選擧を行いたいと述べ此れに對して、小野町議は、懇談會の結成された動機、會長は町當局に折衝する機會を多からしめる爲にも、舊議員の方から會長を擧げて見たいと述べ、立花町議亦これに贊意を表したが駒木根、小濱兩舊議員から反對說あり江尻氏より四月改選期まで保留されたいとの提案があり議論が起り遂に保留說多數でケリがついた、次で町長から町政運營に就き說明をなし、助役から豫算編成の經過を報告し駒木根、小濱、福尾、佐川舊議員の質問あり、次に町役場廳舍建築に就て贊否を質せば、近藤氏の萬難を排して建設すべしと云ふ提案あり滿場一致建築に決定した其他、工場誘致、港灣對策等に就て各委員長の報告がありそれに對し種々な質問應答があつて閉會し、淸楚なる宴會を催し和氣靄々裡に午後五時頃散會した

小名濱第三小學校舍

教育委員會移轉案決る

小名濱町教育委員會では十七日午前九時第三小學校に於て委員會を開催し第三校の校舍を移轉する設計に基く協議を行つた、出席委員は坪內委員長初め、立花、小野(直)小野(務)の四名、役場側からは水野町長齋藤課長、馬上課長、加美山技師等で、地元側からは齋藤PTA會長、長瀨副會長婦人水竹校長等でオブザーバーとして總務委員長高木、經濟委員長佐藤、副議長長瀨の諸氏であつたが、議案は移轉案が三つに別れ、第一案は本校舍の西側に横に並べて一列にするもの、二案は更に本校舍と一列より更に奧に移轉するもの、第三案は本校舍の前面五間を隔てた地点に移轉するものであるが種々檢討の結果第三案に決定四學級に更に二學級を增築する事を附議して現地を調査し役場出張所の廳舍を校庭內から他に移轉せしむる等の案も飛び出し其れも早急に方付ける事として正午晝餐を共にし午後一時散會した

四倉高校卒業式

四倉高等學校卒業式は二十日午前十時より同校において擧行された表彰者氏名左の通りである

△優等—鯨岡孝至（普通科）高木俊子、鈴木光子、志賀カネ（家庭科）

△功績—中谷滋、戸田サダ子、高木俊子、加澤トク鯨岡孝至、古市圭子、根本キク子、猪狩サク子、根ノ山野邊スイ子、鈴木キヨ

△精勤—佐藤美惠子、新妻キイ子、戸田サダ子、後藤令子、志賀カネ、鯨岡正子

拾い読み

「赤字」とか「失敗」だとかやれ「中止になるとか」競輪に寄せる皮肉屋の聲は自分勝手な見解で千差萬別であるが、そういふ皮肉屋さんやツムジ曲りは別として競輪場を見守る育ての親たちは、いろいろ罪のないお話しで持ちきり「もう矢張り春ですね」と場內の空氣を見つめながらSさんが言えば「そうそう平はどうしてこう女の競輪の方が賣上があるんでしょうね」とKさん煙草の煙をふきつゝ最もらしく首をかたむける、「平でばかりちアありませんよ、もう春ですよ」と春に力を入れてくりかえすSさんのおどけ顏！春は先づ競輪からか？部屋一杯にひろがるこの笑ひ!!笑の知らぬツムジ曲屋さんに見せたいこの空氣!!春は先づ競輪からと!!

生徒募集

本科……………50名
研究科…………若干名
願書受付中・內容規則書進呈
◀學生定期割引の便あり▶
公認 三浦洋裁學院
平市仲町1 電907番

新學期生徒募集

▲本科 ▲速成科
▲師範科 ▲ミシン刺繡科
公認
東北高等洋裁學院
最も簡單で能率的な職業教育の學園
（規則書進呈） 寄宿の便あり
平市二丁目

埋立

專用線あり迅速に致します
多少に拘らず御相談に應じます
から御用命下さい
平市十五丁目
丸茂土建工業所
社長 鹽谷茂雄
電四〇・一〇六一番

春のメリヤス製品
純毛セーター ¥1.265より
純綿アンダーシヤツ ¥360
平市3丁目 東平 電1144